

住宅に関する 助成などのご案内



住宅リフォーム助成制度

市民の皆さんが市内の業者を利用して行う工事費の一部を助成します。申請は工事着手前で令和2年3月30日(月)までに工事完了の報告ができるものに限ります。また、予算額に達した時点で締め切ります。

対象者：市内に住宅を所有し、現在居住している方(親または子が所有し、自ら居住している住宅を含む)、および空き家バンク登録住宅で売買や賃貸借契約をした方、市税などを滞納していない方

対象住宅：現在居住している住宅で建築後5年を経過しているもの

※賃貸住宅は対象外(空き家バンク登録を除く)

対象工事：市内の業者が行う10万円以上(税込)の工事(助成金の交付申請前に着手した工事は対象外)

助成金額：対象工事費の10%以内

(千円未満切り捨て)かつ上限額15万円(二世帯同居世帯同居または75歳以上の高齢者が同居する世帯は上限額20万円。過去に助成を受けた方も上限額に達するまで何度でも活用可)

耐震診断等補助制度

市民の皆さんが住宅の耐震化に取り組むための、耐震診断や耐震改修工事、建て替え費用の一部を助成します。申請は事業(耐震診断、設計、工事)着手前で令和2年2月28日(金)までに完了の報告ができるものに限ります。また、予算額に達した時点で締め切ります。

対象者：市内に住宅を所有し、現在居住している方(親または子が所有し、自ら居住している住宅を含む)

対象住宅：昭和56年5月31日以前に建築した2階建て以下の木造住宅

(在来軸組構法または伝統的構法で建てられた住宅)。耐震改修工事や耐震建替え工事の助成を受けられる場合は、事前に耐震診断を行い補強の必要があると判断された住宅が対象

補助金額(上限額)：①耐震診断：2万円 ②耐震改修工事：100万円(簡易耐震改修工事など)：60万円または75万円 ※要件により異なります) ③耐震建替え工事：100万円 ※事業が長くなることが予想されますので、事前に市に相談してください。来年度以降の計画の相談にも応じます

耐震アドバイザー派遣制度：県の認定を受けた耐震アドバイザーと市職員が自宅に伺い、耐震診断や住宅関連補助制度の相談に応じます。費用は無料です。問合先にお申し込みください

転入者住宅補助制度

対象者：日光市に転入した日に45歳以下または転入した世帯員に18歳以下の子がいる方で、転入した日から過去2年間、市に住民登録が無い方(市内に住宅を新築または購入し、転入後1年以内でその住宅に5年以上居住すること、市税

などを滞納していないこと、取得した住宅の所有権を2分の1以上有すること、建築基準法に適合した住宅であること)

補助金額：基本額30万円(市内業者の新築工事または市内業者が施工した建売住宅をその業者から購入した場合20万円加算、高齢者孤立防止に該当する場合10万円加算)



.....
くわしくは・問合先

.....
住宅リフォーム助成制度・耐震診断等補助制度

.....
建築住宅課建築指導係

.....
転入者住宅補助制度
建築住宅課住宅管理係
☎(21)51164

ラピッド市はアメリカ合衆国サウスダコタ州の西部に位置する、人口約7万人の都市です。毎年約300万人が訪れる観光都市で、アメリカの4人の大統領の彫刻でおなじみの「マウントラシュモア国立記念公園」があることで有名な都市です。また、自然を生かした農業や林業、鉱業も盛んな都市です。

旧今市市で平成6年に姉妹都市の提携をして以来、市は市国際交流協会と共同で、ラピッド市とさまざまな交流を行っています。

姉妹都市 ラピッド市へ の中学生・高校生派遣事業



マウントラシュモア国立記念公園

くわしくは 観光課 ☎21-5196

Beyond Language and Culture

言葉や文化を越えて

7月22日(月)、日光市の中学生4名、高校生8名の合計12名がラピッド市に向けて出発しました。8月2日(金)までの12日間、マウントラシュモア国立記念公園、バッドランズ国立公園などの名所を訪ね、アメリカならではのスケールの大きさや、自然、文化などを体験しました。また、ラピッド市長への表敬訪問の際には、英語で模擬議会議会を行いました。

生徒は滞在中、ラピッド市の家庭にホームステイをして日本との生活文化の違いを体感しながら、ホストファミリーやラピッド市の人々と交流を深め、充実した日々を過ごしました。最初は英語で話すことをためらっていた生徒も、次第に積極的に会話や買い物などを英語でチャレンジするようになり、言葉や文化の壁を乗り越えて成長する姿は、将来への無限の可能性を感じさせるものでした。



バッドランズ国立公園



カスター州立公園



カヌー体験



市長との模擬議会議

Journey report

はつきり伝えたりすることは、本当に大事なコミュニケーションを取ろうと思ったり、自分の思いを

今までは、正しい英文で話すことを重視しすぎて、うまくコミュニケーションが取れませんでした。しかし、本当に大事なのはコミュニケーションを取ろうと思ったり、自分の思いを

私は、この事業に参加して自分の意思を伝えることの重要性と難しさを学びました。



ラピッド市長から名誉市民証を受けた佐久間さん

派遣生徒の感想文

鹿沼高等学校1年

佐久間 さま

はつきり

だと気づきました。ホームステイ後半では、どうにか気持ちや伝えようと、積極的に英語を話す努力ができました。自分の英語が相手に伝わった時のうれしさを感ずると共に、もっと英語力を身につけて楽しい話をたくさんしたいと強く感じました。

この経験や思いを忘れずに、今後は自分の意見を言葉にして伝えることを頑張りたいです。また、相手によくお礼を言うアメリカ人のように、ささいな事でも感謝の言葉を口にできるよう意識したいです。高校生のうちにホームステイという貴重な体験ができたことを、最大限に生かしていただくのが、親や関わってくださった方々への恩返しになると思います。これから、自分から英語を話す機会を増やし、会話を身につけ、もう一度アメリカに滞在したいです。

日本に、楽しくて楽しくて少し悔しい思い出を持って帰ってくるのができ、本当に良かったです。

ホストファミリーを募集しています…毎年7月中旬から約10日間、ラピッド市の学生が日光市に滞在します。その際、家族の一員としてラピッド市の学生を受け入れてくれる家庭を随時募集しています。日光市にいながら、国際交流できるチャンスです。楽しい夏の思い出をつくりませんか？

